

令和4年度 学校教育相談課題別研修D（貧困問題の理解と対応） 実施要項

- 1 目的 貧困問題について理解を深め、教育相談を実践するための理論や技法を習得するとともに、地域や関係機関との連携の在り方など幅広い知見の習得を図る。
- 2 対象 小・中学校及び義務教育学校、府立高等学校（岸和田市立産業高等学校の定時制の課程を含む）、府立支援学校の教職員

募集人数 80名

3 内容等

回	日時	内容	講師等
1	8月9日（火） 9:30～12:30	子どもの貧困をめぐって ースクールソーシャルワーカーの観点からー 〔講演〕	社会福祉士・精神保健福祉士 水流添 綾

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください。

- 4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 担当室 教育相談室
- 6 その他 （1）受付は30分前から。
（2）来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること。
（3）自家用自動車・バイク等は大阪府教育センターに駐車できません。

令和4年度 学校教育相談課題別研修D（貧困問題の理解と対応） シラバス

1 目的

貧困問題について理解を深め、教育相談を実践するための理論や技法を習得するとともに、地域や関係機関との連携の在り方など幅広い知見の習得を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期		○	○										○	○	○
第1期															
第0期															

3 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	子どもの貧困をめぐって ースクールソーシャルワーカーの観点からー	スクールソーシャルワーカーの活動や関係諸機関との連携について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールソーシャルワーカーの活動について理解する。 ・教育相談におけるソーシャルワークの必要性、学校と関係機関等との連携やネットワーク構築の重要性などについて理解する。 	